中学校　国語　　漢文④　～漢文訓読④～　（解答）

（　　　）年（　　　）組（　　　）番　名前（　　　　　　　　　　　　　　）

一 書き下し文を参考にして白文に訓点を書き入れなさい。（１０点×１０問）

　⑴　暮に河陽の橋に上る。

ル

ノ

二

一

二

二

暮　上　河　陽　橋　。

⑵　李下に冠を正さず。

ヲ

サ

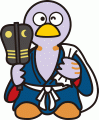
二

李　下　不　正　冠　。

⑶　百聞は一見に如かず。

レ

レ



二

一

レ

ニ

カ

ハ

百　聞　不　如　一　見　。

　⑷　徳は孤ならず。必ず隣有り。

点

ワ

リ

ズ

ナラ

ハ

徳　不　孤　。　必　有　隣　。

　⑸　西のかた諸侯を得んとして錦水に棹さす

レ

レ

ヲ

ニ

サス

ントシテ

ノカタ

西　得　諸　侯　棹　錦　水　。

　⑹　雲には衣裳を想い　花には容を想う

一

一

二

二

「矣」も置き字だから、書き下し文には含まれないよ。

書き下し文をよく見て、漢字の使われている順番を参考にしよう！

ウ

ヲ

ヲ

イ

ニハ

ニハ

雲　想　衣　裳　花　想　容　。

　⑺　過ちて改めざる、是を過ちと謂う。

一

二

レ

ウ

ヲ

メ

ル

チト

チテ

過　而　不　改　、　是　謂　過　矣　。

⑻　故に事の格に合わざる者を言いて杜撰と為す。

レ

レ

ト

ス

ヲ

ニ

ル

ノ

ニ

イテ

故　言　事　不　合　格　者　為　杜　撰　。

　⑼　青は之を藍より取りて、藍よりも青く。

一

一

二

二

レ

レ

ハ

ヲ

ク

ヨリモ

ヨリ

リテ

青　取　之　於　藍　、　而　青　於　藍　。

　⑽　故きを温めて新しきを知れば、以て師為る可し。

一

一

二

二

シキヲ

ル

テ

シ

メテ

キヲ

レバ

温　故　而　知　新　 、可　以　為　師　矣　。

二

一レ

レ

レ